



SISVEL

シズベル、無線規格に必須の特許350件以上を含む450件のノキア特許を取得

ラスベガス-2012年1月12日

シズベルインターナショナルは本日、ノキアが出願した450件の特許及び特許出願を含む47の特許ファミリーを取得したと発表しました。

これら特許及び特許出願は、移動通信装置及びサービスで幅広く使用される技術をカバーしています。これらのうち350件以上の特許及び特許出願からなる33の特許ファミリーは、ノキアによりGSM (Global Systems for Mobile communications)、UMTS/WCDMA (Universal Mobile Telecommunications Service / Wide-Band Code Division Multiple Access) 及びLTE (Long Term Evolution) を含む第2、第3及び第4世代の通信規格に必須であると宣言されています。特許ポートフォリオの残りは、画像の符号最適化技術を含む実施化特許からなっています。取得した特許は特定の既存契約の影響を受け、また取得取引の中にはノキアがこのポートフォリオのライセンスを受ける条件が含まれています。

シズベルインターナショナルのCEOである、ジュスティエーノ・デ・サンクティスは今回の特許取得に関して「シズベルは無線技術に関する必須特許のライセンスを、公平かつ合理的、非差別的な条件（FRAND条件）でより容易に取得できるよう、この数年無線通信業界と協力し、非常に活発な活動を行ってきました。」と述べ、さらに、彼は次のように説明しています。「このキーとなる特許ポートフォリオに含まれる多数の必須特許の取得は、当社にとっても非常に重要なステップであり、この領域で成功するという当社の責任と決意を示す証です。我々は、取得した必須特許をFRAND条件で許諾し無線通信業界とともに活動し続けることを楽しみにしています。」

シズベルグループについて

1982年のイタリアにおける創業以来、シズベルグループは知的財産権の管理と特許価値の最大化に取り組んできたリーディングカンパニーです。シズベルグループは世界中に拠点を有し、イタリアにシズベル（トリノ）とエディコ（ローマ）、米国にシズベルUSとAudio MPEG（ワシントン首都圏）、中国にシズベル香港、日本にシズベルジャパン（東京）、ドイツにシズベルジャーマニー（シュトゥットガルト）、そしてルクセンブルグにシズベルインターナショナルを展開しています。グループには技術、法律、ライセンシングなどの専門知識を有する100名強の社員が在籍しています。

特許管理において長年の実績を有するシズベルがこれまでに手掛けた特許ポートフォリオには、MP3やMPEG Audioとして知られる音声圧縮規格に加え、OSD (On Screen Display)や、ATSS (Automatic Tuning & Sorting System)や、WSS (Wide Screen Signaling - for automatic switching of television image formats)など幅広い技術が含まれます。さらに、UHF-RFIDや、CDMA 2000, DVB-T, DVB-T2規格に関するパテントプールの運営、LTE、DVB-C2、Wi-Fiに関するパテントプールの設立も促進しています。

本記者発表文の公式バージョンは英語版です。日本語翻訳版は、読者の便宜を図る目的で提供されたものであり、法的効力を持ちません。日本語翻訳版を資料としてご利用になる際には、法的効力を有する唯一のバージョンであるオリジナル言語版(<http://www.sisvel.com/>)と照らし合わせて頂くようお願い致します。



SISVEL

広報（イタリア）

Federica Brotto
Sisvel S.p.A
Tel: +39 011 990 4114
E-mail: press@sisvel.com

広報（米国）

Larry Bouchie
TurboPR for Sisvel US, Inc.
Tel.: +1 781-454-5287
E-Mail: larry@turbopr.com

広報(日本)

齊藤あかね
シズベルジャパン株式会社
Tel : 03-5251-9500
E-mail : info@sisvel.jp